

令和7年度 第2回磐田市社会教育委員会 摘録

日 時	令和7年10月28日（火）13時30分～15時30分
場 所	磐田市役所 本庁舎4階 第2会議室
出席委員	浅羽委員長、三輪副委員長、高橋委員、山田委員、大場委員、田中委員
事務局	ダイバーシティ推進室長、担当職員2名

[会議概要摘録]

1 委員長あいさつ

2 報告

(1) こども・若者の居場所に関する取組について（こども未来課）

(主な内容)

- ・「磐田市こども・若者会議」の中で取り組んできた「こども憲章・未来へつなぐみんなの心得」の改訂について市政20周年記念式典で発表する予定である。
- ・「こどもの居場所づくり情報交換会」を社会福祉協議会と共催で実施している。
- ・「こどもの居場所づくり支援事業費補助金」の制度を設けている。
- ・今後も継続して、こども・若者の声を聴き地域・学校・企業・市政に反映するとともに学びの場づくり等への連携・伴走・後方支援を実施したい。

(主な意見)

- ・居場所づくり情報交換会には、企業を呼び連携するのも良いかもしれない。
- ・こども・若者会議は、こどもの声を聴く場として重要な場である。
- ・こども・若者会議では、こどもたち自身の言葉で振り返るのがとてもよかった。参加していない子の声も聴くことができるようなつながりが生まれると良い。

(2) 若者の相談窓口事業及び窓口の周知について（こども若者相談センター）

(主な内容)

- ・悩みを抱えている方が相談しやすい体制を整えたい。
- ・若者相談事業は、主に中学校卒業から64歳までを対象に実施している。

- ・相談の中には、障がいや家族関係など様々なことが複雑に絡んでいるため、必要なときに必要な場所（関係部署等）につなぐ役割がある。
- ・中学校等と連携しながら相談ダイヤルの周知、担任やスクールカウンセラーに仲介してもらい在学時から面談を行うなど工夫し支援している。

（主な意見や質問）

- ・相談ダイヤルの周知（カードの配布）の時期をもう少し早い時期にしてはどうか。
⇒小中学校では、早い段階から継続してこども若者家庭センターの紹介を行っている。
⇒特に義務教育が終わってしまう前の中学3年生にカードを配布している。
- ・配布カードの内容をもう少し見直してもよいのではないか。
- ・地域や学校との連携はどうか。
⇒虐待などの対応では、常に学校と連携を図っている。
⇒地域では、引き続き民生委員との連携を図っていきたい。
こども若者家庭センターの取組だけでは及ばないところがあり地域の見守りなどを継続してほしい。

3 協議

（1） こども・若者と笑顔でつながる地域の集いについて

資料1

（主な意見）

- ・できるだけ多くの人に参加して欲しい。学校関係者の方にも是非参加して欲しい。
- ・学校関係者に司会進行をしてもらうなど、主体的に関わっていただくようにしたい。
- ・参加者同士で話すなどの簡単なアウトプットも出来ると良い。
- ・催しの名称を「地域の集い」より「市民の集い」とした方が集客的にも効果的である。
- ・集いの名称もよく検討してほしい。

4 閉会